

20歳になった今、知っておいてほしいこと。

～20歳代から急増する子宮頸^{けい}がんについて～

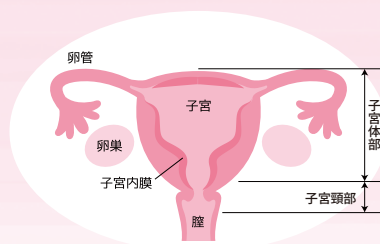
勉強やアルバイト、仕事などで日々忙しい20歳のみなさんに、知っておいてほしいことがあります。それは、20歳代でも「がん」になる可能性があるということです。がんは日本人の2人に1人が生涯のうちにかかると言われており、誰でもかかる可能性があります。

がんの中でも特に、**若い世代の女性に多く発症する「子宮頸がん」**についてお伝えします。

子宮頸がんってどんな病気？

子宮は赤ちゃんを育てる働きをもつ臓器ですが、ここにもがんはできます。子宮頸がんは、子宮の頸部にできるがんで、20歳代から増え始め、30歳代までで治療により子宮を失ってしまう(妊娠ができなくなってしまう)女性が年間約1,000人います。子宮頸がんの主な原因はヒトパピローマウイルス（HPV）の感染です。

HPVは性交渉の経験がある人は誰もが感染する可能性があり、**80～90%の人が生涯のうちに一度は感染する**と言われていています。感染しても多くの場合は自然に消滅しますが、一部の人は子宮頸がんへと進行します。初期の段階で病変を発見し治療できると、妊娠・出産への影響は少なくなります。



子宮頸がんを防ぐためには？

子宮頸がんの初期は自覚症状がほとんどありません。子宮頸がんを苦しめないために、私たちができることは、**HPVワクチンの接種と子宮頸がん検診の受診**です。

ワクチンの接種

- HPVワクチンの接種はHPV感染の予防ができ、子宮頸がんの原因の50～90%を防ぎます。
- 令和8年3月31日までは無料で接種を受けることができます。接種を受けていない方は早めの接種をご検討ください。

がん検診の受診

- がん検診を受けることで、がんの早期発見・治療につなげることができます。
- HPVワクチンの接種の有無に関わらず、20歳になったら必ず定期的（2年に1回）に子宮頸がん検診を受けてください。

今だけ無料！ 子宮頸がん検診のお知らせ

20歳（平成16年度生まれ）の女性限定で、自治体から無料クーポン券が発行されます。飯田市では通常7,000円で受ける検診が、無料で受けられます。クーポンは5月頃に郵送予定です。市外に住所のある方は各自治体へご確認ください。



無料クーポン券 見本



二十歳の節目を迎えたの皆さんへ



▶ あなたは投票しましたか？

令和6年は10月20日に飯田市長選挙と飯田市議会議員補欠選挙が、10月27日には衆議院議員総選挙が行われましたが、皆さんは投票しましたか？

今回の選挙における19歳及び20歳の投票率は、飯田市長選挙が19.8%、衆議院小選挙区選出議員選挙が19.9%と5人に1人しか投票していませんでした。「選挙なんて興味ない」とか「政治のことはよく分からないから選挙に行かない」なんて思っている人はいませんか？



令和6年度
明るい選挙啓発ポスターコンクール県審査2等
伊賀良小学校児童の作品

▶ 選挙は何のためにするの？

私たちが暮らす社会のルールや仕組みは、私たちが選挙で選んだ議員によって組織された国会や議会によって法律や条例として定められています。

また、私たちが支払っている消費税などの税金の使い方を決めるのも国会や議会です。「選挙」は私たちの生活をより良くしていくために大変重要な役割を担っています。

▶ さあ、投票に行こう！

令和7年には飯田市議会議員選挙と参議院議員選挙が行われます。皆さんは選挙権を持った主権者です。あなたが大事だと思う課題に取り組んでくれる候補者は誰なのか、あなたの暮らしや未来のために働いてくれる候補者は誰なのか、あなた自身で選んでください。私たちの現在の暮らしやより良い未来は、私たちの投票の結果で決まります。みなさん、投票に行きましょう。

- ★投票日に用事のある方は「期日前投票」ができます。
- ★学業や出張などで選挙期間中不在の方は「不在者投票」ができます。
- ★引っ越し先で投票ができるよう、引っ越しをしたら住民票を異動しましょう。



明るい選挙キャラクター
選挙のめいすいくん



(公財) 明るい選挙推進協議会の
選挙啓発動画です。

飯田市選挙管理委員会・飯田市明るい選挙推進協議会
TEL0265-22-4511(内線)2632 E-mail:senkyo@city.iida.nagano.jp